

鵜沼宿の家(安田家) 主屋改修

2008 年 5 月～2009 年 7 月

設計：株式会社 建築計画研究所

施工：株式会社 イトー住建（各務原市）

はじめに



主屋全景
旧中山道より



大屋根瓦工事
屋根裏より

この安田家は、旧中山道鵜沼宿の坂井家・梅田家に並んで建つ位置にあり、近くには、二ノ宮神社、脇本陣（再建中）がある。屋敷内には北側街道沿いに主屋、南側市道へむかって中庭・離れ等がある。主屋は、旧宿場町の景観を形成する重要な建物として、国の登録有形文化財、市の景観重要建造物に指定されており、主屋内部は、中庭側縁の側拡張や食堂廻りの改修・中庭東側の離れの増築・離れと主屋をつなぐ廊下の増築などを経て現在も生活空間として利用されている。今回、屋根瓦葺きの老朽化と外壁部の改修を中心に計画がすすめられた。耐震補強面からの改修は、屋根の軽量化のみ行い内部の改修は、今回は基本的に実施しないこととなった。

目 次

- ☐ 建物概要
- ☐ 改修前の問題点
- ☐ 現況写真
- ☐ 主屋改修
- ☐ 改修工事写真
- ☐ 完成写真

- ☐ 配置図
- ☐ 実施設計図書（抜粋）

☐ 建物概要

- 建物名称 安田家主屋
- 建物場所 岐阜県各務原市鷺沼西町地内
- 建物用途 個人住宅
- 築年数等 主屋：昭和 5 年頃 竣工 築約 80 年
昭和 40 年頃 土間に床フロア張・台所・浴室等改修
昭和 50 年頃 南側広縁拡張改修
平成 8 年頃 北側下屋屋根下地補強
平成 16 年 食堂・台所内部改修

○ 建物規模

主屋 床面積 1 階 124.8 m² 2 階 84.5 m²
延床面積 209.3 m² 建築面積 127.7 m²
階数 2 階建
軒高 約 4.99m 最高の高さ 約 7.5m

○ 仕上概要

主屋 屋根 : 日本瓦葺き（引掛棧葺）
外壁 : 土壁漆喰塗仕上 一部下見板張
西・東妻壁土塗下見板張及び腰が 鋼板張
内壁 : 漆喰塗壁及せいの塗壁 ボード下地クロス貼
床 : 畳敷き及び板張 一部土間三和土床
天井 : 根太天井及び竿縁天井 化粧ボード、クロス貼

□ 改修前の問題点等

○主屋外部廻り

旧中仙道街道沿いの北面の漆喰塗壁は、黒漆喰が、退色し、かなり劣化が見られる。木部見え掛り部に関しても腐朽が見られる箇所がある（特に旧中山道沿いの2階部付土台・付長押など）。この建物のファサードを構成する格子部分に関しても金物の欠落や木部腐朽が数箇所一部に見られ、旧中山道の車両交通量の多さの影響と思われる巾木部蹴込み板は反りが激しく、変形している。屋根の日本瓦葺きは、瓦のずれなどが特に大屋根に見られ屋根裏調査では、土葺きの欠落部も所々に見られ、実際には、漏水していると思われ、南面垂木材にはかなりのそりや腐朽が見られる。下屋部の瓦屋根は、垂木の腐朽は見られないものの瓦のずれが多く見られ瓦自体の劣化もかなり進んでいる。大屋根の樋は、北面南面それぞれ1箇所であり昨今の大雨時には、オーバーフローの懸念があり、犬走り部分の水勾配なども不十分と思われる。また、東西面妻壁のトタン張りは劣化が進み張替時期と思われる。東側隣地境には、常夜灯と祠があり、エアコン室外機やLPGボンベも景観上釣合がとれず好ましくないと思われる。

□ 現況写真



主屋：北側よりの全景
道路は旧中仙道



北面 2 階の
漆喰塗壁



東側の常夜灯・祠
奥に LPG ボンベが見える



街道沿いの木製糸屋格子



北面・西面の外壁と格子



南側の全景
中庭・離に繋がる



巾木部分の蹴込板



屋根裏の小屋組

□ 主屋外部改修

○屋根廻り

屋根の軽量化を図って、現況土葺きの瓦に代わって空葺き屋根に葺き替えを行った。大屋根に関しては垂木、野地板共全て新材に替えた。下屋屋根瓦下地は、傷みのない垂木は既設利用し野地板を新材に替えた。東側下屋部の屋根は、当初瓦葺き屋根であったが、平面形状・屋根の軽量化を考慮しがかりウム鋼板葺きとした。軒裏などの見え掛り部分は防腐処理を兼ね簡易の古色塗を施した。

屋根面積から推察すると大屋根・下屋部分合わせて約 20ton 位軽くなつたとみられ、地震に対しては有効に働くと考えられる。また、軽量化に伴い風の影響を受け易くなると考えられる為、垂木・母屋・束など全て金物にて補強を施した。

軒樋、豎樋は、すべてやり替えし、北・南面では、落し口を1箇所増設しオーバーフローの危険性を少なくしている。

○外壁廻り

外壁北面は、1階では退色している黒漆喰塗・腰洗出し壁を復元補修し、2階外壁は、車などの通行による振動などの影響で土壁周囲の剥離などが見られたため、現況土塗壁を撤去し断熱材+構造合板下地作成からの土塗壁復旧工事を行った。

北面建具に関しては車などの騒音を考慮しサッシュに取替えを行った。これらは、この建物の特徴である格子の内側となり景観上問題は、無いと考えた。

東面・西面の壁は、既存のトタン張りをすべて撤去し、周囲の景観を考慮し、下見板張を新設した。腰部に関しては将来の木部腐朽を考慮しがかりウム鋼板張とし、下見板張り方は、隣接建物の妻壁を参考にしている。

東側の隣地境には、LPGボンバや空調室外機があり、木格子にて囲いを新設した。また、電気引込線・電気メーター・電話引込み線など景観上邪魔な設備を東面カドに移設した。

○その他

外壁周囲の犬走りは、既設土間コン部分を含め西側のみが土となっている為、土台下の礎石のズレを無くすよう、また、水勾配処理の為、土間コンクリートにて犬走りを作った。東側の一部土台露出部も同様の処置をおこなった。玄関前の土間コンクリートは、水勾配と排水処理を考慮し改修を行ない水捌け調整を行った。土間コンの仕上は、和風意匠と滑り止めを兼ねたカッター目を手作業で行った。将来は、街道に昔あった水路と舗道が改修整備される計画があり、電柱も移動により近々には無くなる予定である。その際には、常夜灯も移設される予定であり、この付近の景観は、旧中山道の趣を色濃く残す町並みに変貌することとなる。

□ 改修工事写真

大屋根
瓦葺きの様子



大屋根
既設瓦撤去時の様子



屋根瓦葺き替え完了



屋根裏小屋補強





南側下屋の鋼板葺き屋根



東側下屋の鋼板葺き屋根



西面の下見板張り



東面の下見板張り

取付前の下見板壁ユニット





北面 2 階の新設壁下地



北面蹴込板のやり替え

北面 2 階の黒漆喰塗壁
(仕上げ塗前)



格子敷居の埋木補修



各務原市工事
検査の様子



東面下見板の押縁取付



玄関横の壁下地補修



北面格子 作業場で補修



各務原市の完成検査の様子



(株) 建築計画研究所 10



玄関土間の仕上作業

□ 完成（改修後）写真



主屋 全景（道は旧中山道）



街道沿いの格子

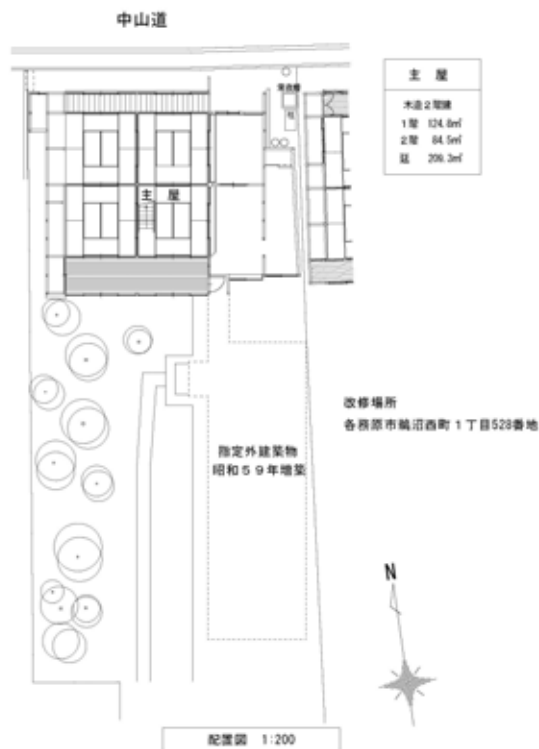


LPG ボンベ廻りの格子

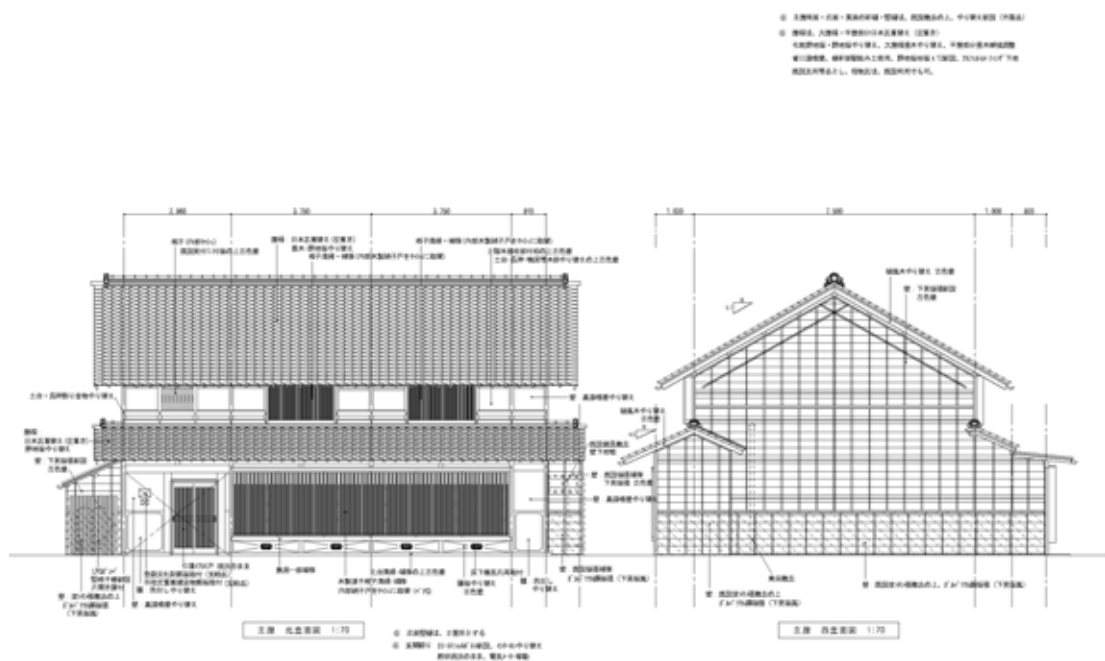


北面・西面外壁と格子

□ 配置図・実施設計図書（抜粋）



配置図



改修主屋立面图 1

Architectural drawings of the 'House of the Future' (未来の家). The left side shows a detailed cross-section of the house, illustrating the roof structure, insulation, and internal layout. The right side shows a perspective view of the house, highlighting its modern design and integration with the surrounding environment. The drawings are labeled with various components and materials, such as '屋根材' (roofing material), '断熱材' (insulation material), and '構造材' (structural material).

改修主屋断面図

